

令和4年度宮城県児童生徒学習意識等調査結果について

宮城県教育委員会

【目次】

1 実施状況 P 1
(1) 調査の目的	
(2) 調査実施期日	
(3) 調査対象者	
(4) 調査の概要	
2 調査結果の概況 P 2～10
(1) 「学力向上に向けた5つの提言」に関連する事項	
① 改善傾向が見られるもの	
② 課題が見られるもの	
③ 児童生徒と学校の認識にかい離が見られるもの	
(2) 災害（地震・津波）の影響に関連する事項	
(3) 基本的な生活習慣に関連する事項	
(4) 自尊意識・規範意識に関連する事項	
(5) ボランティア活動等に関連する事項	
(6) タブレット端末やパソコン等の活用に関連する事項	
3 今後の対応 P 10

1 実施状況

(1) 調査の目的

宮城県（仙台市を除く）の児童生徒における学習・生活に係る取組や意識等を調査することにより、児童生徒の心のケアと一層の学力向上を図る教育施策の企画・立案に活用する。また、各学校における教育に関する継続的な検証改善サイクルの充実を図る。

(2) 調査実施期日

令和4年6月20日（月）から令和4年6月24日（金）までの期間で学校事情に合わせた任意の日

(3) 調査対象者（仙台市を除く）

対象(*)	調査事項	実施校	参加児童生徒数
小学校第5学年の全児童	生活習慣	241校	9,447人
中学校第1学年の全生徒	学習習慣	132校	9,608人
学校	児童生徒への関わり方 指導方法	上記の全小・中学校	

* 義務教育学校，特別支援学校を含む。

2 調査結果の概況

(1) 「学力向上に向けた5つの提言」に関連する事項

<参考>学力向上に向けた5つの提言

①	どの子供にも積極的に声掛けをするとともに、子供の声に耳を傾けること。
②	子供をほめること、認めること。
③	授業のねらいを明確にするとともに、授業の終末に適用問題や小テスト、授業感想を書く時間を位置付けること。
④	自分の考えをノートにしっかり書かせること。
⑤	家庭学習の時間を確保すること。

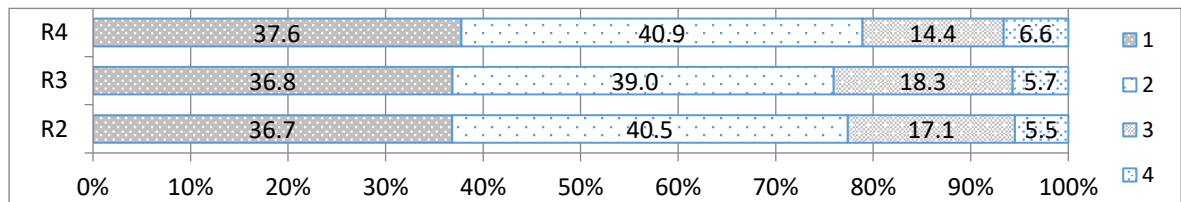
① 改善傾向が見られるもの

- 「先生から声を掛けられたり、励まされたりしていますか」という質問に、肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）をしている児童生徒の割合は昨年度よりも増加した。
- 「授業の中で先生から目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか」という質問に、肯定的な回答をしている児童生徒は、年々緩やかに上昇している。

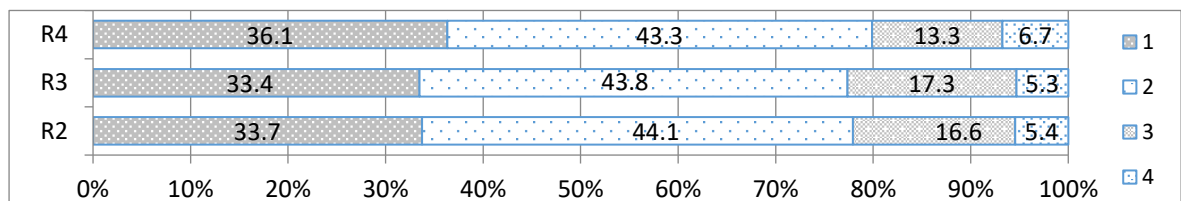
質問事項1「先生から声を掛けられたり、励まされたりしていますか」

《選択肢》 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

【小学校第5学年】



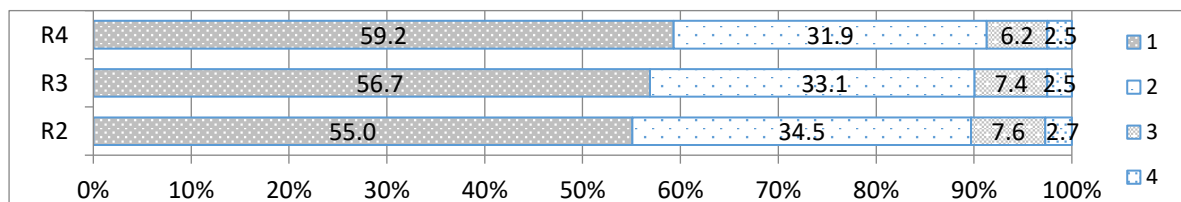
【中学校第1学年】



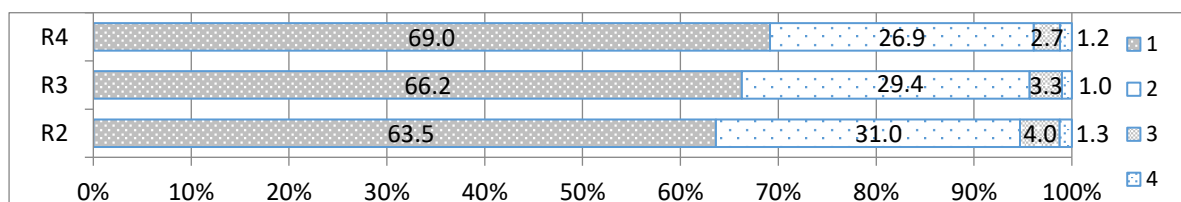
質問事項4「授業の中で先生から目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか」

《選択肢》 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



② 課題が見られるもの

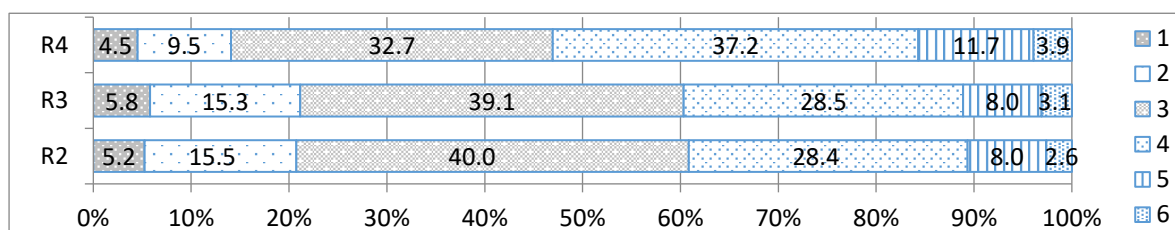
△ 「学校の授業時間以外に、平日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」という質問に対して、小学校では1時間以上学習している児童は5割を切っており、中学校では2時間以上学習している生徒は3割を切っているなど、昨年度に比べて大きく減少した。

△ 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」という質問に対して、小学校では2時間以上学習している児童は2割程度、中学校では3時間以上学習している生徒は2割に満たない。

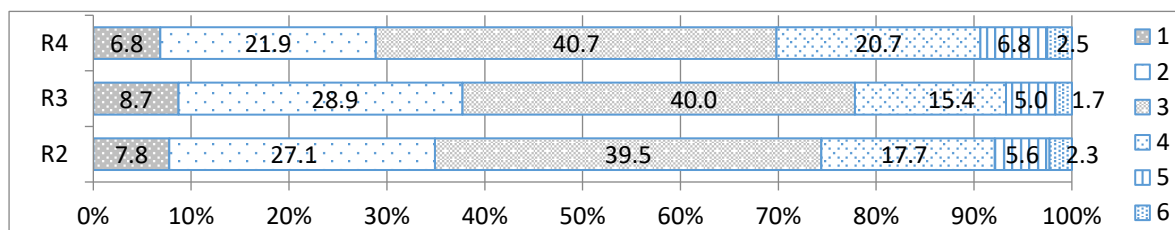
質問事項9 「学校の授業時間以外に、平日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師を含む）」

《選択肢》 1 3時間以上 2 2時間以上3時間未満 3 1時間以上2時間未満
4 30分以上1時間未満 5 30分未満 6 全くしない

【小学校第5学年】



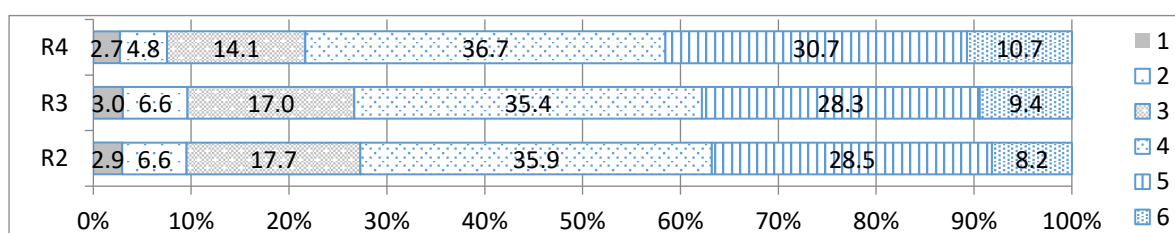
【中学校第1学年】



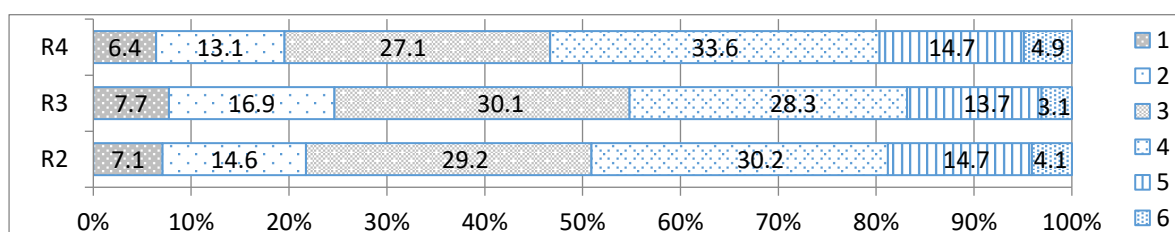
質問事項10 「休日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師を含む）」

《選択肢》 1 4時間以上 2 3時間以上4時間未満 3 2時間以上3時間未満
4 1時間以上2時間未満 5 1時間未満 6 全くしない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



③ 児童生徒と学校の認識にかい離が見られるもの

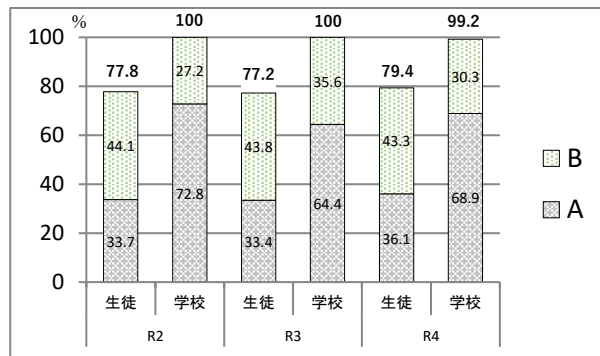
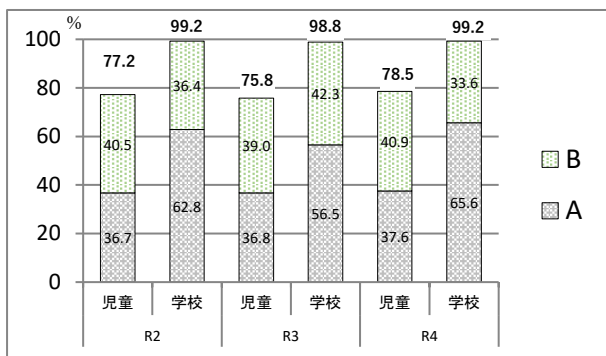
△ 質問事項1における「励まし」、質問事項5における「振り返り」など、依然として学校回答と児童生徒の回答にかい離が見られる。

質問事項1（児童生徒）「先生から声を掛けられたり、励まされたりしていますか」

（学 校）「児童生徒一人一人に積極的に声を掛け、励ましていますか」

【小学校第5学年】

【中学校第1学年】



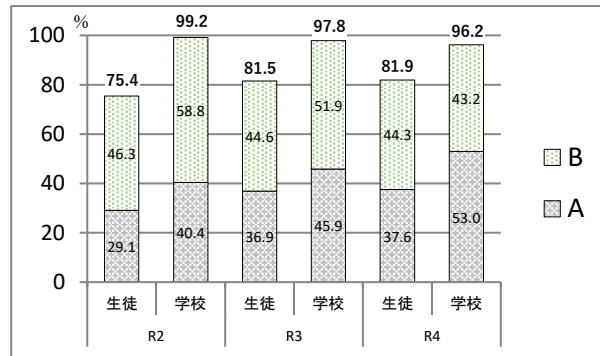
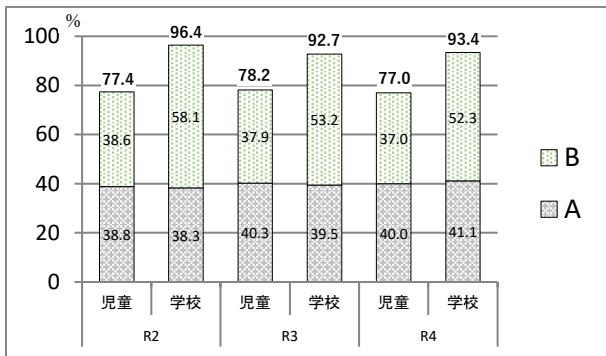
※A：当てはまる B：どちらかといえば当てはまる

質問事項5（児童生徒）「授業の終わりにその時間の学習内容を振り返る活動が行われていると思いますか」

（学 校）「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか」

【小学校第5学年】

【中学校第1学年】



※A：当てはまる B：どちらかといえば当てはまる

(2) 災害（地震・津波）の影響に関連する事項

△ 「災害（地震・津波）のことが思い浮かび、気持ちが落ち着かなくなることがある」と回答している割合は、小学校で約25%、中学校で約9%となっており、小学校でより高い傾向が見られる。

※ 災害（地震・津波）の影響に関連する事項は、今年度、文言の一部を修正していることもあり、昨年度よりも肯定的な回答が増加している。災害（地震・津波）が児童生徒の学習や生活に影響を与えていることが伺える。

(昨年度)

「突然震災を思い出し、気持ちが落ち着かなくなることがありますか」

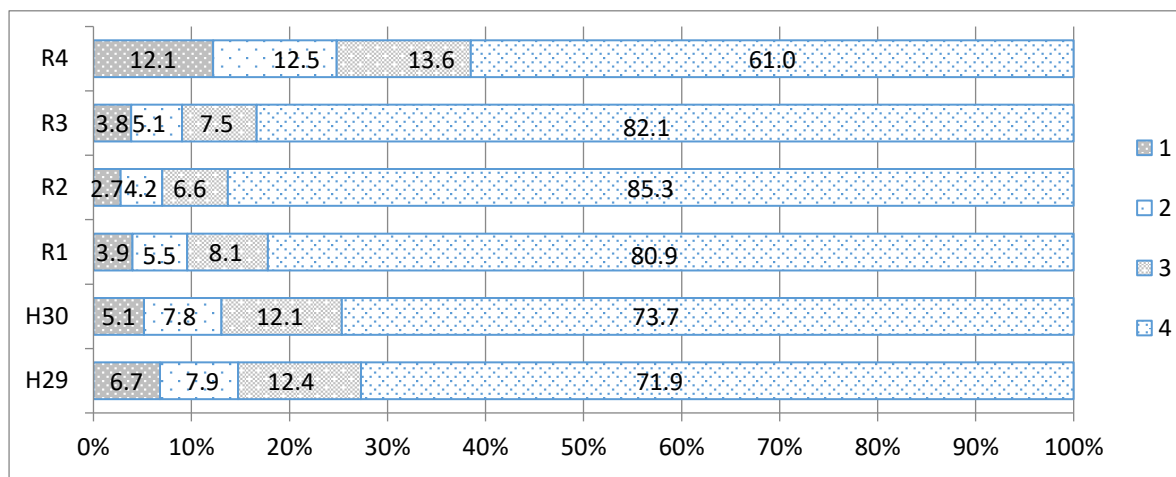
(今年度)

「災害（地震・津波）のことが思い浮かび、気持ちが落ち着かなくなることがありますか」

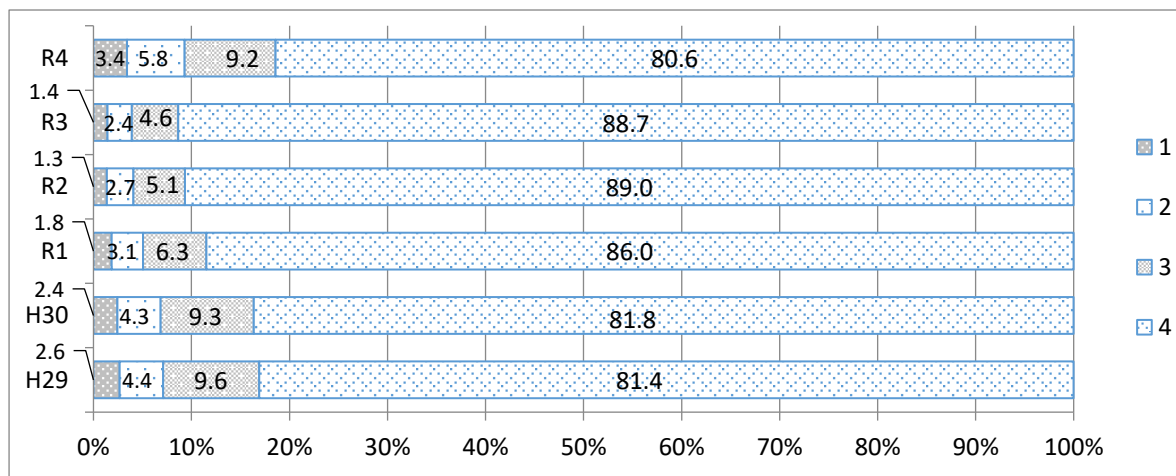
質問事項13「災害（地震・津波）のことが思い浮かび、気持ちが落ち着かなくなることがありますか」

《選択肢》 1 ある 2 どちらかといえばある 3 どちらかといえばない 4 ない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



(3) 基本的な生活習慣に関連する事項

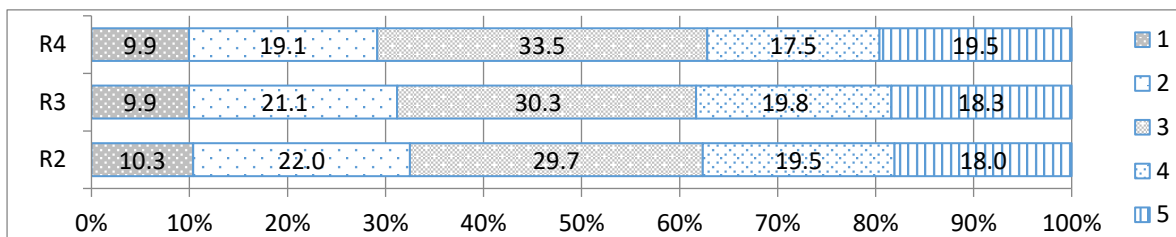
△ 「平日に1時間以上テレビゲームをしている」と回答している児童生徒の割合は、小・中学校ともに7割を超え、依然として増加傾向にある。中学校では2割以上の生徒が3時間以上と回答している。

△ 「平日に携帯電話やスマートフォンを勉強以外で2時間以上使っている」と回答している児童生徒の割合が昨年度より大幅に増加し、小学校では2割以上、中学校では3割以上となっている。

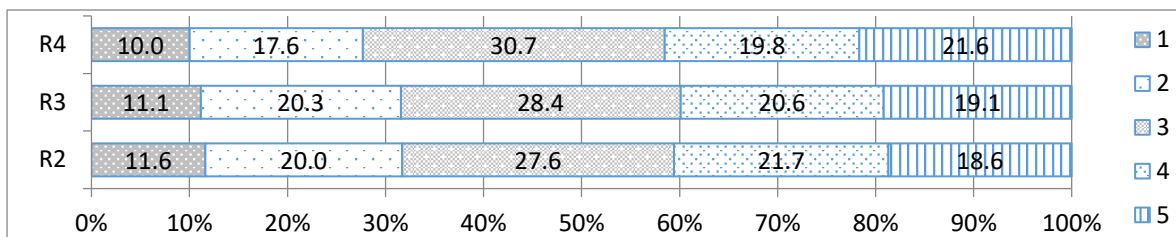
質問事項22 「平日に、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォン等を使ったゲームを含む）をしますか」

《選択肢》 1 全くしない 2 1時間未満 3 1時間以上2時間未満
4 2時間以上3時間未満 5 3時間以上

【小学校第5学年】



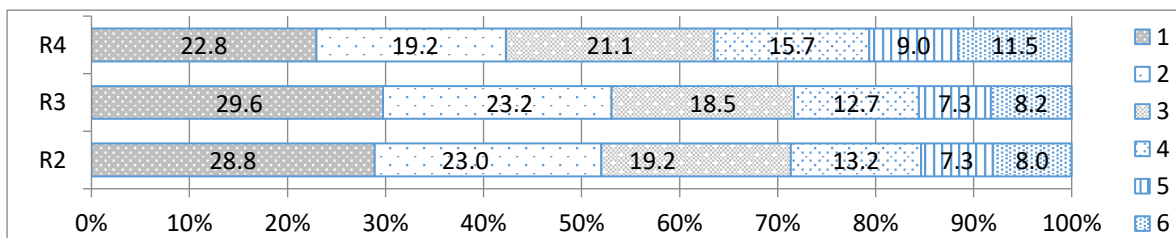
【中学校第1学年】



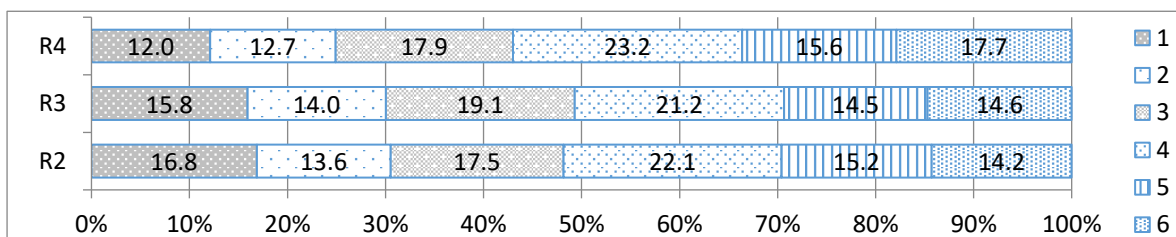
質問事項23 「平日に、スマートフォン等を勉強以外で使う時間はどのくらいですか」

《選択肢》 1 全く使わない 2 30分未満 3 30分以上1時間未満
4 1時間以上2時間未満 5 2時間以上3時間未満 6 3時間以上

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



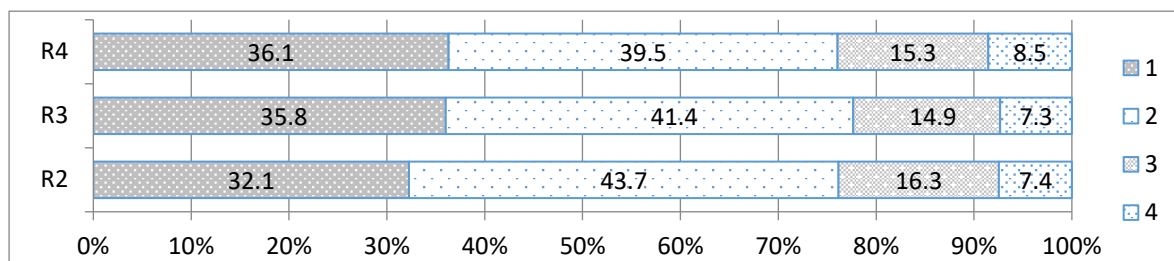
(4) 自尊意識・規範意識に関連する事項

- △ 「自分には、良いところがあると思いますか」という質問に対して、そう思うと答えている割合はやや増加したものの、肯定的な回答をしている児童生徒は昨年度よりやや減少した。
- △ 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」という質問に肯定的な回答をしている児童生徒は昨年度よりやや減少した。
- △ 「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して、肯定的な回答をしている児童生徒の割合は、昨年度よりやや減少している。中学校では8割を下回っている。

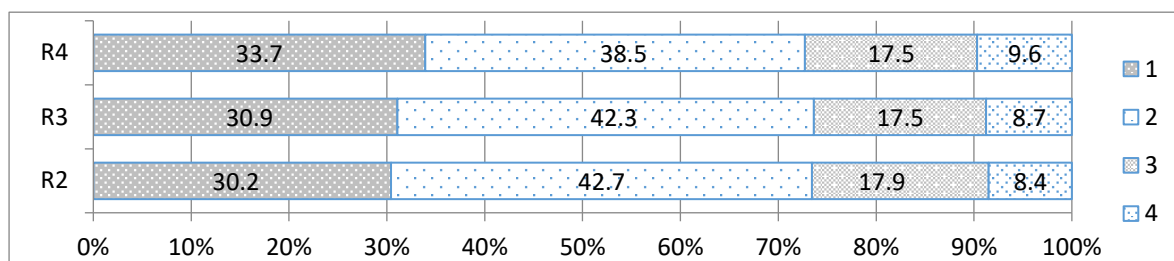
質問事項26「自分には、良いところがあると思いますか」

《選択肢》 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

【小学校第5学年】



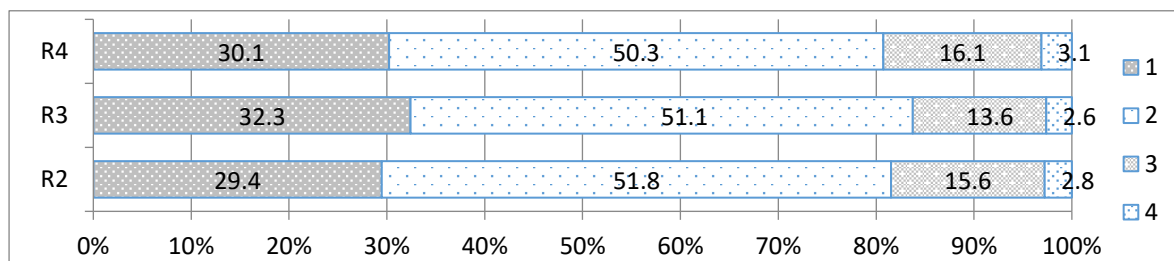
【中学校第1学年】



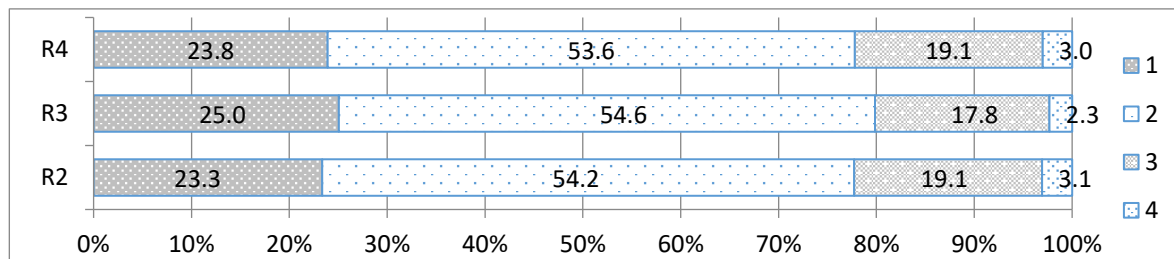
質問事項28「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」

《選択肢》 1 している 2 どちらかといえばしている 3 どちらかといえばしていない 4 していない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】

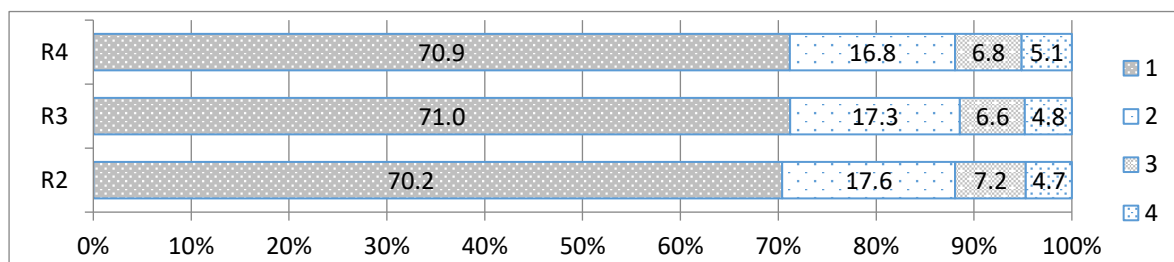


質問事項30「将来の夢や目標を持っていますか」

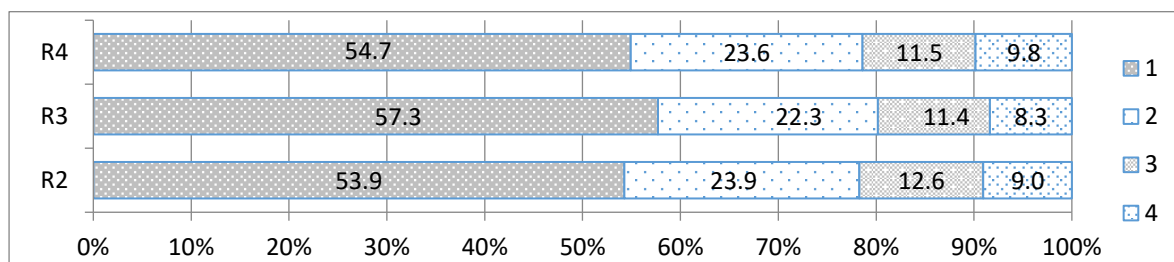
《選択肢》 1 持っている 2 どちらかといえば持っている

3 どちらかといえば持っていない 4 持っていない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



(5) ボランティア活動等に関する事項

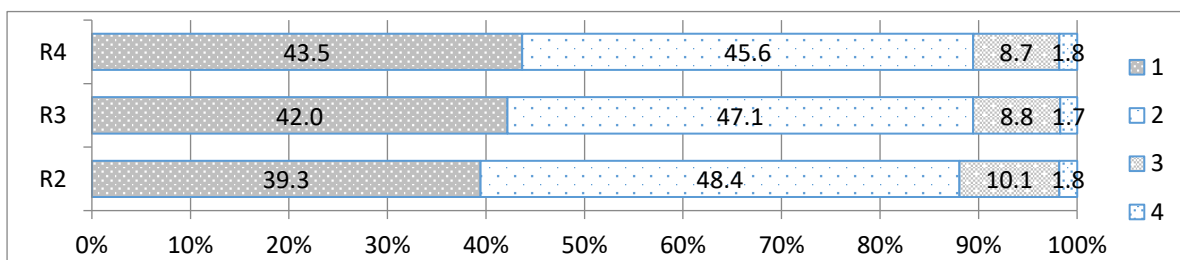
○ 「人が困っているときは進んで助けていますか」という質問に肯定的な回答をしている児童生徒の割合は約9割となっている。

△ 「ボランティア活動（校内での活動を含む）に参加していますか」という質問に対して、肯定的な回答は昨年度よりもやや減少している。

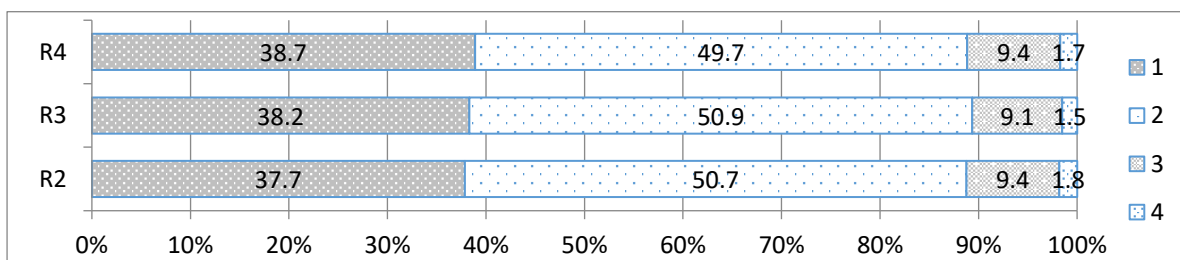
質問事項35「人が困っているときは進んで助けていますか」

《選択肢》 1 している 2 どちらかといえばしている 3 どちらかといえばしていない 4 していない

【小学校第5学年】



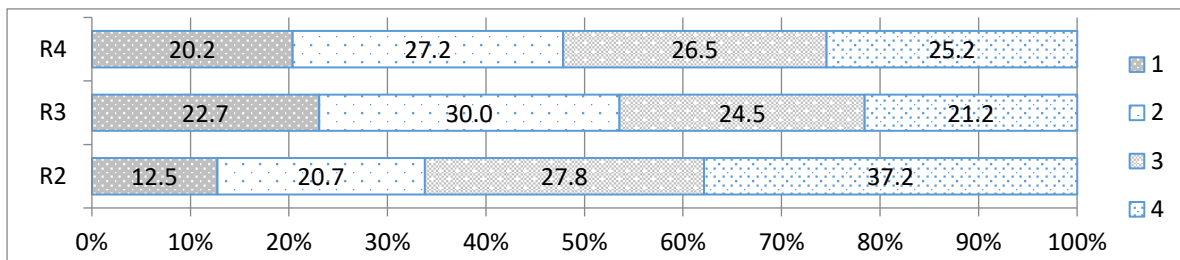
【中学校第1学年】



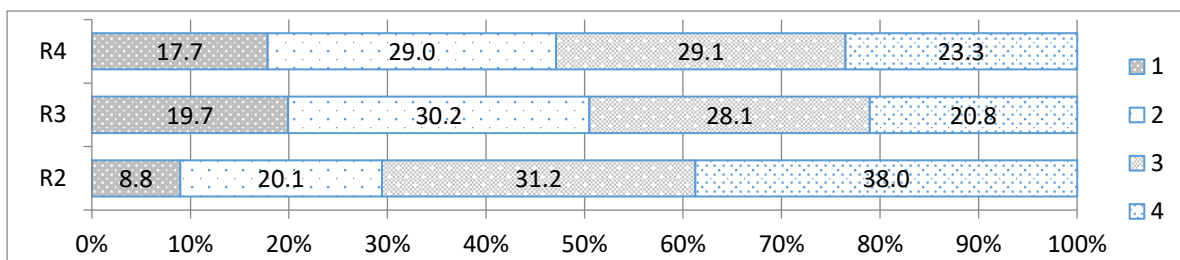
質問事項 37 「ボランティア活動（校内での活動も含む）に参加していますか」

《選択肢》 1 している 2 どちらかといえばしている 3 どちらかといえばしていない 4 していない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



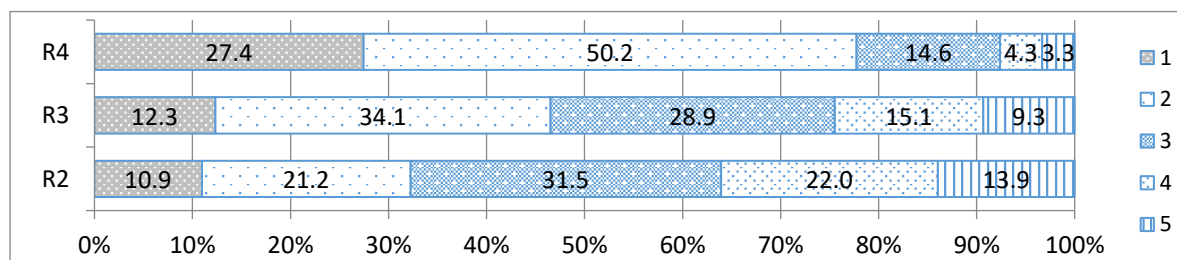
(6) タブレット端末やパソコン等の活用に関連する事項

- 「これまで受けた授業では、タブレット端末やパソコン等をどの程度使っていましたか」という質問に対して、ほぼ毎日、週1回以上使用していると回答した割合は、小・中学校ともに増加している。
- △ 「授業でタブレット端末やパソコン等をもっと活用したいと思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をしている児童生徒の割合は昨年度よりやや減少している。

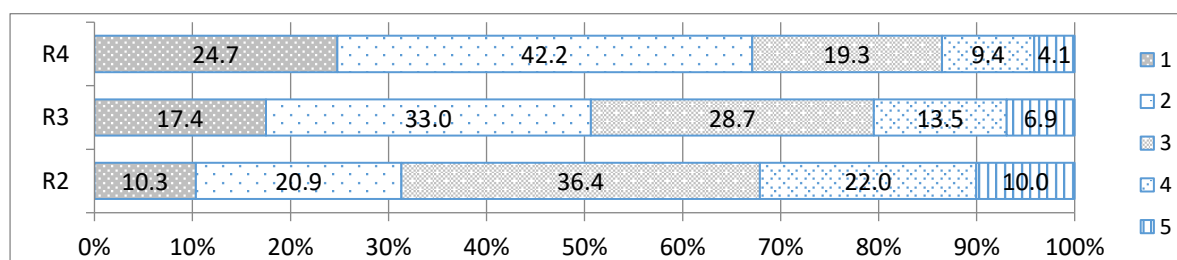
質問事項 38 「これまで受けた授業では、タブレット端末やパソコン等をどの程度使っていましたか」

《選択肢》 1 ほぼ毎日 2 週1回以上 3 月1回以上 4 月1回未満 5 その他

【小学校第5学年】



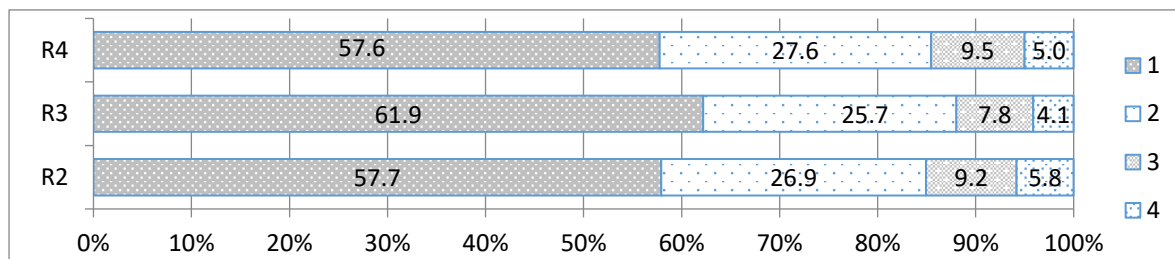
【中学校第1学年】



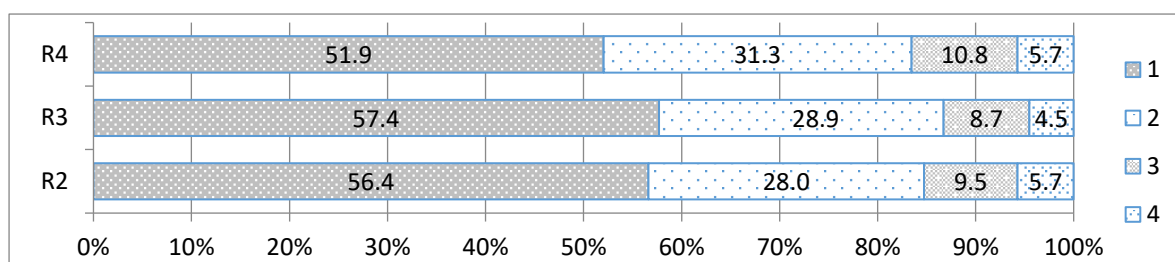
質問事項 39 「授業でタブレット端末やパソコン等をもっと活用したいと思いますか」

《選択肢》 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



3 今後の対応

調査結果の概況から、以下のような傾向が見られた。

- ・ 児童生徒への声掛けや、授業の目標を明確にすることについて、肯定的な回答が増加している。
- ・ 人が困っているときは進んで助けているという質問に対して、肯定的な回答をしている児童生徒の割合が高くなっている。
- ・ 1人1台端末を授業でもっと活用したいと答えている児童生徒の割合は8割を超えている。
- ・ 平日、休日ともに家庭での学習時間が大きく減少している。
- ・ テレビゲームやスマートフォン等を使う時間が増加している。
- ・ 自尊意識がやや低い傾向にある。

これらの傾向を踏まえ、以下の点について取り組んでいく。

- みやぎ「行きたくなる学校づくり」の知見を活かし、児童生徒が安心して学ぶための「居場所づくり」と「絆づくり」を推進する。
- 1人1台端末の積極的な活用を促すとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた取組を支援し、その成果の普及・啓発を図る。
- 各学校や地域の実情に応じた「みやぎの志教育」の一層の充実を図る。
- 家庭における学習習慣の形成やメディアの適切な使い方について、各市町村教育委員会と課題を共有するとともに、家庭・学校・地域が連携・協働した取組の推進を図る。
- みやぎの志教育につながる「みやぎの学ぶ土台づくり」の普及・啓発を進め、非認知能力を高める幼児教育の推進と、保幼小の連携・接続のための取組の充実を図る。